

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 29 年 8 月 8 日（火）

9 時 57 分 ～ 11 時 32 分

全員協議会室

（委 員）岡本委員長、上野副委員長

岡野委員、野藤委員、芦谷委員、佐々木委員、田畑委員、江角委員

（議 長・委員外議員）足立議員、柳楽議員、小川議員、森谷議員、飛野議員、笹田議員
道下議員、牛尾昭議員

（総務文教委員会 所管管理職）

〔総 務 部〕砂川総務部長、山根総務課長、馬場安全安心推進課長

〔地域政策部〕岡田地域政策部長、河上まちづくり推進課長、田中地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕宮崎財務部長、草刈財政課長

〔金城支所〕吉永支所長

〔旭 支 所〕塚田支所長

〔弥栄支所〕細川支所長

〔三隅支所〕斎藤支所長

〔教育委員会〕石本教育長、佐々木教育部長、森脇学校教育課長、外浦文化振興課長

〔消防本部〕佐々木消防長

（事務局）篠原書記

議 題

1 執行部報告事項

- （1）平成 29 年 7 月 4 日からの大雨災害についての検証について
- （2）元浜田警察署の改修について
- （3）平成 29 年度まちづくり総合交付金課題解決特別事業について
- （4）島根県立大学浜田キャンパスにおける学部増設に係る再要望について
- （5）地域活性学会第 9 回研究大会の開催について
- （6）平成 28 年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について
- （7）石正美術館アトリエ再現事業について
- （8）その他

（配付物）

- ・平成 29 年度運動会及び学習発表会等日程

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 57 分)

岡本委員長

ただいまより総務文教調査会を開会する。議題に入る前に、森谷議員から委員外議員として、ビデオ撮影許可申請及び発言の申し出があった。このことについてお諮りしたい。まずビデオ撮影については、浜田市議会委員会傍聴規定第 5 条「傍聴人の写真、映画等の撮影の禁止規定」により、許可しないということによろしいか。

(「意義なし」という声あり)

岡本委員長

はい。許可しないこととする。

次に委員外議員として、執行部報告事項(7)について発言を求められているが、これについては議会申し合わせにより、調査会での委員外議員の発言は出来ないこととしているので却下とする。

それでは議題に入る。

1. 執行部報告事項

(1) 平成 29 年 7 月 4 日から的大雨災害についての検証について

(2) 元浜田警察署の改修について

岡本委員長

この 2 件について、安全安心推進課長。

安全安心推進課長

(以下、(1) (2)の資料をもとに説明)

岡本委員長

(1)について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

断水があったか。給水車の使用について。

安全安心推進課長

給水車の出動は一部あった。地区ははっきり把握できていない。当日とその後に断水が起こって対応した。井野に 1 件ともう 1 か所あった気がするが覚えていない。

三隅支所長

井野は水が出なくなった家庭に支所からポリ容器で運んだ。そこに全部運んで他に対応できなくなったため、別の同じ井野地区だが水道部から 3 回給水車を出してもらった。

岡野委員

給水車の活用があって良かった。被害状況の中で、断水については全く書かれていない。断水についても書いてもらった方が分かりやすい。

安全安心推進課長	ご意見ごもっともだと思いますので今後そのようにする。
岡本委員長	他に。芦谷委員。
芦谷委員	最近のニュースで、河川の支線や中小河川での測定が不十分だと言われていた。25 年の際、敬川の水位計が下流にあって、上流に江津分にある、その中間ところの下有福、大金、大津の所は情報がなかった。あろうことか浜田市のホームページに敬川の情報がなかった。情報提供システムのその後の改善について伺う。
安全安心推進課長	おっしゃるとおり県管理河川の支線については情報が乏しい。申し訳ないが具体的には着手していない。ただ、中小河川、市管理河川、合流する場所の水位が分かるようなカメラを検討したい。
総務部長	敬川については県管理なので、重点要望を出している。
芦谷委員	三隅で定点カメラの要望があった。若生地区を含めて被害状況を把握するためのカメラや水位計の不備があったのか。
安全安心推進課長	河川管理システムについては、災害について不備はなかった。浜田市ホームページでも、県河川水位情報がリンクして見られるようになっているのが改善点である。こちらでシステム不具合や異常は感知していない。ただし観測場所が限定されていたので、それ以外、例えば周布川、敬川は長いので、他の場所にも定点カメラは必要ではないかと認識している。
総務部長	先般、県の土木部と県土整備事務所にお礼に伺った際、監視カメラ増設の依頼をした。県河川だからと全て県に任せるのではなく、市でも検討が必要と感じて内部協議中である。
芦谷委員	一極集中で雨が降るので、是非浜田市でも再度、大きい河川の支線、中小河川も再度点検し、色んな被害状況が把握できるシステム建築の検討を要望する。
	もう 1 点。災害復興室の設置だが、若生、波佐、三隅まで行くのは大変。従って各支所へ、本庁も含めて、災害復旧復興の相談等をワンストップで本庁支所で一様のことを整理するのはどうか。
安全安心推進課長	被害対応については翌日から、本庁・支所、それぞれの窓口で対応している。災害復興室については土木災害・農林災害の復興工事をやるので、こちらで対応を考えている。
芦谷委員	25 年の評価だが、金城へ行ってくれという声が結構あり、市民

	からかなり不評だった。波佐から三隅は遠いので、簡単に行けということがないように。なるべく支所で一時的に対応して欲しい。要望しておく。
岡本委員長	他に。田畑委員。
田畑委員	6 ページの床下・床上浸水、この程度の雨が降れば慢性的に浸かるのが分かっているのか。
安全安心推進課長	そういう地区かどうかは把握していないが、雨量で言うと非常にキツイ降り方だったため、水はけ能力を超えていた。常時浸水する地区だとは認識していない。
田畑委員	25 年と同じような地域が浸かっていると思う。慢性的に浸かる所を浸からないように、何等かの対策は練らないと、その地域に人が住めなくなる。浜田市だけで出来る事業も、県、国にお願いする事業もあると思うが、現場の認識レベルが、地域の方と浜田市とがずれていて話にならない。 避難勧告、避難指示を出された際の要支援者の問題。5 年前から登録されているはずだが、名簿が活かされていない。自治区によって意識の違いはあるだろうが。要支援者の名簿は誰が持っていて、情報提供、活用を今回されたのか。
安全安心推進課長	災害の抜本的な対応については、水はけや水路等は都市建設部と相談して対応を考えていく。 要支援者については、以前もご指摘があったと思う。地域福祉課で名簿を作成し、必要とする団体にご説明してご了解の上でご提供している。今回も連絡はしたが、個別な十分なケア不足だった。
田畑委員	折角作ったものが活かしていない。13 ページに検討項目がたくさん書いてあるが、災害はいつ発生するか分からない。浜田市は感覚が鈍すぎる。屋外拡声器についても、問題はなかったと言われるが、放送もあれほどの雨が降れば聞こえないと思っている市民がいっぱいいる。それで用を足しとるという判断をされる浜田市に問題がある。もう 2 時間降っていたら周布地区はもっと大変なことになっていた。安全安心推進課だけでなく浜田市全体でどう対応するか、待ったなしの課題だと思う。
総務部長	確かに周布川、三隅川は大変なことだった。特に周布川は越流

	するのではないかと非常に心配していた。今回以上の雨が降ることもあり得る。今後の検討が遠くのことにならないように、災害対応予算がどれだけ取れるかもあるが、消防団や自主防災組織等との連携といった、すぐ出来ることは始めたい。監視場所を増やしたり、早めの避難指示等も努力しなければならない。危機管理意識を持って対応したい。
田畑委員	特に周布川に限らずだが、定点カメラ。三隅町時代から運用しているケーブルテレビは、定点カメラで各地の状況が見られる。それで消防団に指示も出せる。なくてはならない必需品だ。25年の時も周布川は溢れる危険性があったのに浜田市は何もしていない。是非、県がやらないなら市がやる。ケーブルテレビで皆が見られる仕組みを早く作るべきだ。いかがか。
総務部長	各支所とも必要性を感じている。市としても予算をかけてでも対応を出来るだけしていきたい。
岡本委員長	他に。佐々木委員。
佐々木委員	職員さんの対応、真夜中の突発的な災害にも関わらず機敏な対応をしてもらったと思っているが、その反面、課題や将来的不安も浮き彫りになった内容だったと思う。被害額そのものを聞きたい。今回は人的被害はゼロだと思うが、農地や市道、ざっくり 30 億円くらいの被害額だが、これがだいたいの状況か。
安全安心推進課長	概ねご見解のとおりで結構だと思う。
佐々木委員	これまでの災害と比べてどのくらいの位置にあるのか。
財政課長	今回の災害のところで専決規模は 36 億円程度。25 年度の 7 割弱の補正額になろうかと思う。
佐々木委員	25 年の 7 割ということで。要支援者の避難について少し状況が分かったが、避難誘導は関係者の方がされたということだが、どこに避難されたのか、避難所の名簿が出来ていないような報告だった。受け入れ先はどうだったのか。
安全安心推進課長	ご指摘のとおり、一部の避難所において名簿作成をしていなかった。今後はルール化したい。
佐々木委員	重要なことだと思う。避難漏れにも繋がる。対応してもらいたい。避難指示が出て避難所に避難せず、家の中の安全な場所にいれば避難指示に対応したという判断か。

安全安心推進課長 おっしゃるとおり。避難の考え方は色々あると思う。川が溢れそうだから避難指示が出たなら、山に住む人は移動しなくても安全だと言える。何に注目して避難を検討するか、その判断ができるようなできるだけ細かな情報を提供しているつもりだ。

佐々木委員 避難指示というのは、必ずどこか安全な所へ避難することで指示に従ったこととされていたが、今回の場合は把握が難しいのでは。

安全安心推進課長 町内会の中でも、隣家同士で対応が変わった場合もあると思う。そのあたりは、安否確認を含め検討をしたい。

佐々木委員 今回の災害から色んな課題が浮き彫りになって、災害そのものに対する緊張感はもちろん持っておられると思うが、中身のある対応、本当に市民を守る対応というのが、今回の課題を踏まえてクローズアップされたと思う。それを取り上げて今後活かしてもらいたい。

岡本委員長 他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長 ではこの件については終了する。ここで暫時休憩とする。11時5分まで。

[10時 54分 休憩]

[11時 03分 再開]

岡本委員長 会議を再開する。(2)について質疑は。田畑委員。

田畑委員 この浜田警察署の改修については以前から話があり、良し悪しは別として理解は出来るが、教育委員会の何課が1階に行って、何課が2階に行くのか、個別の配置図はないのか。都市建設部も、1階2階3階にどう配置するのか。

安全安心推進課長 これについてはそれぞれ組織、委員会、都市建設部の方で配置の再検討中のため、まだ具体的な提示に至っていない。概ねは、1階には教育総務関係、2階には文化・生涯学習・青少年サポートセンターといった組織を、教育委員会にご検討いただくようお願いしている。また都市建設部については完全なワンフロアのため、レイアウトは都市建設部と調整中である。

田畑委員 色々あるのだろうが、こういった調査会にしても確定したもの

	を出してもらわないと。僕は実際に市民から質問されているが、曖昧な答えをするのは厳しい。調査会に出す時に、確定した個別の配置図をきちんと出してもらわないと。話が一变二变しておかしな話になりはしないか。是非、配置図くらいはきちんとしたものを出して欲しい。
岡本委員長	他に。野藤委員。
野藤委員	教育委員会と都市建設部はどれくらいの規模になるのか。
安全安心推進課長	概念で言うと若干広くなる。教育委員会は全部動くので、浜田公民館 3 階の組織が全部動くと認識してもらいたい。会議室等は増えるが、面積的には 2 割程度増えるかなあというイメージだ。建設部は面積的にはそう変わらない。
野藤委員	開府 400 年事業もある。建設の面積は狭い。出来るだけ仕事しやすくなるよう勘案していただきたい。
岡本委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(3) 平成 29 年度まちづくり総合交付金課題解決特別事業について

岡本委員長	この件について、まちづくり推進課長。
まちづくり推進課長	(以下、(3) の資料をもとに説明)
岡本委員長	この件について委員から質疑は。佐々木委員。
佐々木委員	一次が 12 団体、これから二次募集だが、どんな予想をされているか。
まちづくり推進課長	予算が課題解決特別事業と、まちづくり推進委員会を設立したいというところに対しての支援を含めて、1500 万円の予算を組んでいる。現在 744 万 5000 円の事業費になっているので、多ければこれくらいの規模のものは出してもらっても対応できると思うが、今のところ 3 団体から秋冬に向けて色んな事をやりたいとお話を伺っている。これについては直接 33 団体に対して、再度お声かけを今からしようと思っている。
佐々木委員	金額もさることながら、団体数も、一次だと 1 つの団体が 3 つの事業を出している。出来れば幅広く色んな団体に出してもらった方が良い。努力をしてもらいたい。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(4) 島根県立大学浜田キャンパスにおける学部増設に係る再要望について

(5) 地域活性学会第9回研究大会の開催について

岡本委員長

この件について、地域プロジェクト推進室長。

地域 Prj 推進室長

(以下、(4) (5)の資料をもとに説明)

岡本委員長

(4)について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

地域政策学部の中に学科を作るという趣旨だと理解したが、学部なのか学科なのか、どちらでも良いニュアンスがある。どちらか。

地域 Prj 推進室長

地域政策学科を備えた地域政策学部と要望を出している。今回は法人として一旦、支援協議会の方に方針が示されているので、地元支援協議会がどういう趣旨の考えを持っているのかを新学長に伝えるべく、あまり細かい所は書いていない。地域政策に特化したものを示すべきではないかという考えをお示しするものなので、今回は地域系の学部・学科を増設するという事で、細かく書いていない。

岡野委員

名称はどうしてもよくて、ハードルが低いのは総合政策学部の中に地域政策学科コースを設ける方。新学部設立は大変ハードルが高い。既にある学部の中に学科を設ける方が良い作戦なのではと私は思っている。

学長に要望するということは有効な手段なのか。設置者に願うのも変な話。作戦としてあまり効果的ではないような気がするのだが。

地域政策部長

一応法人からゼロ回答と頂いている。それに対しまして改めてうちから学部・学科という詳しいことでお願いするのではなく、趣旨を理解していただいた上で、大学側が一番やりやすい方法にお任せしたいため、今回は細かい指定をしていない。設置者の島根県に対しても、平成 26 年当時に要望を出している。具体的な回答はいただいているが、今後 6 年間の大学の有り様を中期基本目標として定めるよう県が準備を進めている。その方針が固まれば、大学がそれを受けて中期の計画を作り上げていく。県にも引

	き続きお願いしていくが、学校にも同じように、学長も変わられたこのタイミングに改めて要望させてもらった。
岡本委員長	他に。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	(5)について委員から質疑は。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(6) 平成 28 年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について

岡本委員長	この件について、財政課長。
財政課長	(以下、(6) の資料をもとに説明)
岡本委員長	この件について委員から質疑は。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(7) 石正美術館アトリエ再現事業について

岡本委員長	この件について、文化振興課長。
文化振興課長	(以下、(7) の資料をもとに説明)
岡本委員長	この件について委員から質疑は。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではこの件については終了する。

(8) その他 (配付物)

・平成 29 年度運動会及び学習発表会等日程

岡本委員長	委員の机の上には 1 件の配布物がある。ご確認をお願いします。 その他執行部から何かあれば。
	(「ありません」という声あり)
岡本委員長	委員から何かあるか。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ここで執行部からの報告事項 7 件及び配布物 1 件について、全員協議会へそのまま提出し説明すべきもの、資料配布のみとするもの、提出不要のものの決定をしたい。 執行部側の意向を伺いたい。総務課長。
総務課長	報告させていただく。 (1) 報告事項

	(2) 資料配布のみ
	(3) 資料配布のみ
	(4) 資料配布のみ
	(5) 資料配布のみ
	(6) 報告事項
	(7) 資料配布のみ
岡本委員長	以上執行部側の意向を聞いた。委員から質疑は。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	ではそのように決定させていただく。執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

岡本委員長	その他で委員から何かあれば。
	(「なし」という声あり)
岡本委員長	それでは、以上で総務文教の調査会を終了とする。

(閉 議 11 時 32 分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 岡本正友 ⑨